

シラバス

科目名	ツーリズム演習	単位数	2単位	学年・学科	3学年 国際ビジネス科	展開	—必修—・選択	
教科書名				副教材名	「事例探求ワークブック」観光・地域活性化編（実教出版）			
科目の目標	事例探求を通し、ツーリズム産業についての基礎知識を学ぶ。また、国内外のツーリズム産業を取り巻く環境を理解し、観光需要を分析し、ツーリズムを観光ビジネスの面から捉えることのできる能力と資質を養う。							
学習内容と進め方	(1)観光に関する基礎知識の確認 (2)ツーリズムに関する事例探求 (3)地域活性化の考察							
学習の留意点	(1)観光に関わる事象を市場・需要者・供給者の視点で捉える (2)単元ごとの内容をレポートやプレゼンテーション、ポスターセッションなどで人に伝えることにより自己の理解を深め、発展させる (3)学習している内容を地元地域に関する課題の発見や課題解決に結びつける							
月	単元	時数	具体的な学習内容	評価の観点			備考（評価項目）	
				1	2	3		
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 ① ②	1	なぜ観光について学ぶのか	3	・観光を学ぶ意義を学ぶ	○	○	○	・観光を学ぶ意義について理解する
	2	伝統文化と異文化が交わるお祭り	5	・日本で行われているお祭りを調べる ・海外で行われているお祭りを調べる ・日本と海外のお祭りの違いを考える	○	○	○	・日本で行われているお祭りについて理解する ・海外で行われているお祭りについて理解する ・日本と海外のお祭りの違いを理解する
	3	寺や城に泊まれる	5	・寺や神社が行っている新しい取り組みを調べる ・なぜ新しい取り組みをする必要があるのか考える	○	○	○	・寺や神社が行っている新しい取り組みについて理解する ・なぜ新しい取り組みをする必要があるのか理解する
	4	E-DMOでエコツーリズムを推進	5	・発地型観光と着地型観光の特徴を調べる ・なぜエコを意識する必要があるのか考える	○	○	○	・発地型観光と着地型観光の特徴を理解する ・なぜエコを意識する必要があるのか理解する
	5	ガラス工芸で観光都市化	5	・歴史的建造物の魅力について考える ・そこで販売する新たなお土産を考える	○	○	○	・歴史的建造物の魅力について理解する ・そこで販売する新たなお土産を提案する
	6	産業観光でインバウンド観光客を呼び込む	5	・海外から注目される日本の技術を調べる ・その企業を視察する旅行プランを考える	○	○	○	・海外から注目される日本の技術を理解する ・その企業を視察する旅行プランを提案する
	7	広域観光を実現した国際芸術祭	5	・日本で開催されている国際芸術祭を調べる ・広域観光周遊ルートの例を調べる	○	○	○	・日本で開催されている国際芸術祭を理解する ・広域観光周遊ルートを調べ、まとめる
	8	世界農業遺産に認定された能登の・里山里海	5	・地域の名前がついた食品のブランドについて調べる ・地元の名物料理を目玉にした観光プランを考える	○	○	○	・地域の名前がついた食品のブランドについて理解する ・地元の名物料理を目玉にした観光プランを提案する
	9	「電車を止めるな！」鉄道会社のチャレンジ	5	・どんな観光列車があるか調べる ・新しい旅行スタイルについて調べる	○	○	○	・どんな観光列車があるか理解する ・新しい旅行スタイルについて提案する
	10	街全体をホテルに	5	・分散型ホテルの事例について調べる ・分散型ホテルと従来のホテルの違いを調べる	○	○	○	・分散型ホテルの事例を発表する ・分散型ホテルと従来のホテルの違いを理解する
	11	言葉で地域を元気に	5	・方言を活用している商品や観光地を調べる ・学校の施設設備のピクトグラムをデザインする	○	○	○	・方言を活用している商品や観光地を理解する ・学校の施設設備のピクトグラムを提案する
	12	地域の自然や文化と深く交わる新たな観光	5	・〇〇ツーリズムには、どんなものがあるか調べる ・オーバーツーリズムの問題について調べる	○	○	○	・〇〇ツーリズムには、どんなものがあるか理解する ・オーバーツーリズムの問題について理解する
	13	旅行したい人と地域の課題をマッチング	5	・「おてつたび」にはどのようなプランがあるか調べる ・身近な企業の「おてつたびプラン」を考える	○	○	○	・「おてつたび」にはどのようなプランがあるか理解する ・身近な企業の「おてつたびプラン」を提案する
	14	キャンプを活用した地域活性化	5	・各地のグランピング施設を調べる ・ターゲットを引きつけるキャンプ場を企画する	○	○	○	・各地のグランピング施設を理解する ・ターゲットを引きつけるキャンプ場を提案する
まとめ (家庭学習期間)		2						
評価方法	(1)定期考査およびワークシートにより、知識・技能を評価 (2)ワークシート、プレゼンテーションにより、思考・判断・表現を評価 (3)自分の考えに科学的根拠を持たせるための情報収集により、主体的に学習に取り組む態度を評価							
評価の観点	観点		趣旨					
	1. 知識・技能	・観光に関わる用語を理解し、説明することができる。 ・観光産業のそれぞれの役割を理解し、説明することができる。 ・観光産業の動向を過去と現在、国内と国外の両面から理解している。						
	2. 思考・判断・表現	・さまざまな事例を探求し、学習した知識に基づいて他者にわかりやすく伝えることができる。 ・観光に関わる課題を解決するため、科学的根拠に基づき自分の考えをまとめることができる。						
	3. 主体的に学習に取り組む態度	・進んで事例や統計データを収集し、活用しようとする。 ・積極的にワークシート作成に取り組むことができる。						
評価基準	1. 知識・技能	A 観光や地域活性化について理解している。 B 観光や地域活性化について概ね理解している。 C 観光や地域活性化について理解が不十分である。						
	2. 思考・判断・表現	A 観光や地域活性化について科学的な根拠に基づいてまとめ、他者に伝えることができる。 B 観光や地域活性化についてまとめ、他者に伝えることができる。 C 観光や地域活性化についてまとめ、他者に伝えることができない。						
	3. 主体的に学習に取り組む態度	A 観光や地域活性化について高い関心を持ち、積極的に事例と統計データを活用している。 B 観光や地域活性化について関心を持ち、事例と統計データを活用している。 C 観光や地域活性化について関心を持たず、事例と統計データを活用していない。						